

平成 30 年度

事業実績報告書

社会福祉法人 黎明福社会

目 次

1.	全般について	1
2.	介護老人福祉事業	2
3.	栄養管理事業	6
4.	通所介護事業	9
5.	訪問入浴事業	10
6.	訪問介護事業	11
7.	訪問看護事業	12
8.	短期入所生活介護事業	13
9.	居宅介護支援事業	15
10.	地域支援・貢献事業	16
11.	配食サービス事業	17
12.	生きがい元気センター	18
13.	軽費老人ホーム（ケアハウス）	19
14.	みすみ保育園	22
15.	養護老人ホーム松寿園	29

1. 全般について

法人として、社会福祉充実計画の確実な推進を図るために各種事業を展開した。

職員育成事業としては資格取得に力を入れ、研修参加等に関する助成を行った結果、大きな成果となった。また、新規雇用職員も有資格者が多く、今後の法人運営に期待が持てる。一方、体調不良による職員の長期欠勤が多かった点は残念であった。

先進福祉機器等導入事業については、介護リフトや介護センサー等の新規設置や眠りスキャン・防犯カメラの増設を行った。利用者様の安全・安心な生活の確保だけでなく、職員の業務省力化及び介護負担の軽減にも繋がった。

医療施設事業及びサ高住・有料老人ホーム新築事業については、購入を予定していた戸馳の東海大学研修センター跡地に関して、土地評価額が下落したことによる東海大学側からの「白紙に戻したい。」という申し出があり合意に至らなかった。土地の購入ができればこれらの新規事業開始に繋がると考えていたが、非常に残念であった。

単身高齢者のくらしの安心安全サポート事業及び配食サービス事業については、地域貢献事業として法人一体となって取り組んだ。前年度に開始した安心サポート事業に加え、12月からは買い物支援事業を開始した。配食サービスにおいては要望が多く、大幅に増加している。台風等自然災害時の避難場所としても定着し、地域における拠点施設として大きな役割を担っている。

みすみ保育園はヨコミネ式を取り入れ9年が経過した。今年度は特に肢体不自由児の運動機能の面において効果が見られた。また、地域の老人会のご協力のもと、ゴーヤを使ったグリーンカーテンを整備し、県のストップ温暖化防止推進会議において環境キッズ賞を頂いた。広域入所により定員には達しているものの、超少子化の影響で町内の園児が減少している。

松寿園は年間を通して定員の50名を満たした。地域と共同で実施している各行事も定着した。入居者の高齢化に伴い介護を要する方が増えており、階段昇降機の導入を予定している。将来的な建替えに向けても計画を進めている。

法人30周年の記念誌も3月末には概ね完成した。国勢調査によると2020年を境に三角町は高齢者の人口減少が予想される。社会福祉法人として常に地域の動向やニーズを把握し、令和の時代も地域と共に着実に歩を進めていきたいと考える。

2. 介護老人福祉事業

平成30年度特別養護老人ホーム豊洋園の介護のテーマは「看取り」であった。前年度、35名の方が亡くなり、看取り介護の重要性を認識した。今年度も24名を見送ったうち15名が看取り契約のもと永眠され、看取りに立ち会われた御家族より温かい感謝と労いの言葉に、職員は施設で看取る事の意味を痛感した。施設で最期を希望される方々に、看護師・介護士が気持ちを込め、一丸となり実践できたと感じている。

前年度に比べ永眠者が少なかった一方、特に夏から秋にかけて入院者が多く、空床が発生する要因となった。体調変化の早期発見を行い、空床を少なくすることで安定した施設運営に繋がるよう努めたい。

ショートステイに関しては前年度と比較して遜色ない水準を維持できた。在宅部とはもちろん他事業所のケアマネとも連携を密に行い、安定した利用数を確保できるようにしたい。

利用者様の地域交流としては、5月21日恒例の湯殿川のホテル見学を実施した。利用者21名職員31名が参加し、可憐で幻想的な光に地域の皆様と共に魅了された。また、9月23日御船地区の十五夜の集いに、17名の利用者様と29名の職員が参加し、御船の皆様と夜遅くまで交流を深める事ができた。地域の方と利用者様・職員との交流は重要な地域連携であり、その事が地域との関係を深め、「地域の一員である。」と実感できる大切な行事であると思った。

その他、家族会総会や花火大会、10月28日には運動会を行った。運動会には18家族48名の家族参加があり、園の大きなイベントとなった。利用者様、家族、スタッフが我を忘れて、勝敗にこだわった1日であった。

職員の出来事としては、11月に西岡修治さんが介護職員として叙勲Ⅱ類瑞宝単光章受章の荣誉を受けられた。法人としても初めてのことであり、職員1人1人にとって忘れられない荣誉となった大きな祝事であった。

今後については、三角町の過疎化が喫緊の課題として対応が迫られる。高齢者の絶対数が減少するため入居者の確保が困難になると予想される。

さらに、ユニット豊洋は地域密着型の指定を受けていることから、宇城市以外の方は原則として入居することができない。また多床室と比べた場合、ユニットの利用料は若干割高でもあり、宇城市の方であっても利用料の高いユニット豊洋への入所を控える要因になるのではないかとと思われる。今後、施設独自の支援など工夫の必要性を感じている昨今である。

介護老人福祉施設 豊洋園 入居者状況

(定員 60 名)

1. 「年齢・性別」

	60～69	70～79	80～89	90～99	100 以上	計	平均年齢
男	1 人	4 人	6 人	5 人	0 人	16 人	84.6 歳
女	0 人	4 人	30 人	28 人	7 人	69 人	89.6 歳
合 計	1 人	8 人	36 人	33 人	7 人	85 人	88.6 歳

2. 「出身市町村」

市町村名	人 数	市町村名	人 数	市町村名	人 数
三角町	46 人	不知火町	9 人	松橋町	3 人
天草市	1 人	上天草町	16 人	宇土市	4 人
熊本市	3 人	八代市	2 人	美里町	1 人
				合 計	85 人

3. 「要介護度」

	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
人 数	0 人	0 人	20 人	34 人	31 人
合 計	85 人		平均介護度	4.13	

4. 「在所期間」

	1 年未満	1 年以上 ～ 3 年未満	3 年以上 ～ 5 年未満	5 年以上 ～ 10 年未満	10 年 以上	合 計	平 均 在所期間
男	6 人	6 人	2 人	1 人	1 人	16 人	2.60 年
女	22 人	27 人	8 人	12 人	0 人	69 人	2.55 年
合 計	28 人	33 人	10 人	13 人	1 人	85 人	2.56 年

5. 「面 会」

	年 0 回	年 1 回	年 2 回 ～ 年 5 回	年 6 回 ～ 年 11 回	年 12 回 以上	合 計	平 均
合 計	2 人	3 人	18 人	15 人	47 人	85 人	19.7 回

ユニット 豊洋 入居者状況

(定員 20 名)

1. [年齢・性別]

	60～69	70～79	80～89	90～99	100 以上	計	平均年齢
男	0 人	1 人	3 人	0 人	0 人	4 人	83.0 歳
女	0 人	3 人	8 人	9 人	2 人	22 人	89.6 歳
合 計	0 人	4 人	11 人	9 人	2 人	26 人	88.6 歳

2. [出身市町村]

市町村名	人 数	市町村名	人 数	市町村名	人 数
三角町	17 人	不知火町	3 人	松橋町	1 人
小川町	1 人	熊本市	3 人	福岡市	1 人
				合 計	26 人

3. [要介護度]

	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
人 数	0 人	0 人	10 人	13 人	3 人
合 計	26 人		平均介護度	3.7	

4. [在所期間] 全入居者

	1 年未満	1 年以上 ～ 3 年未満	3 年以上 ～ 5 年未満	5 年以上 ～ 10 年未満	10 年 以上	合 計	平 均 在所期間
男	1 人	2 人	0 人	1 人	0 人	4 人	2.08 年
女	5 人	6 人	6 人	5 人	0 人	22 人	3.11 年
合 計	6 人	8 人	6 人	6 人	0 人	26 人	2.95 年

5. [面 会]

	年 0 回	年 1 回	年 2 回～ 年 5 回	年 6 回～ 年 1 1 回	年 12 回 以上	合 計	平 均
合計	0 人	0 人	10 人	5 人	11 人	26 人	17.7 回

行 事 実 績

	施 設 内 行 事		そ の 他
	多 床 室	ユ ニ ッ ト	
4 月	花見 花祭りの集い 故郷ドライブ	花見 花祭りの集い 故郷ドライブ	宇城市議会議員不在者投票
5 月	菖蒲湯 新茶会 母の日の集い 蛍見学	菖蒲湯 新茶会 母の日の集い 蛍見学	新任職員の防火設備設置場所及び消火栓、 消火器取扱説明会 緊急連絡訓練手順説明 及び緊急連絡訓練
6 月	父の日の集い 天城橋&あじさい見学	父の日の集い 天城橋&あじさい見学	家族会総会 震災・昼間想定総合訓練
7 月	七夕の集い みなと祭り踊りパレード 見学	七夕の集い みなと祭り踊りパレード 見学	消防設備点検 (アクティブエレクト) 青海小学校ワークキャンプ 三角小学校ワークキャンプ
8 月	盆帰省 盆供養(霊照寺住 職様来園) 納涼花火大会	盆帰省 盆供養(霊照寺住 職様来園) 納涼花火大会	三角中学校ワークキャンプ 福祉の仕事出前講座(宇土市立網田中学校)
9 月	敬老の集い(合同) 御船 地区十五夜の集い参加(合 同) 100歳及び長寿祝い 会(合同)	ユニット秋祭り 敬老の 集い(合同) 御船地区十五 夜の集参加(合同) 100 歳及び長寿祝い会(合同)	三角中学校職場体験 入居者結核健診(済 生会熊本病院健診センター) 職員健康診断(福岡健康管理センター) 宇城市役所より敬老の祝い
10 月	秋季運動会(合同)	秋季運動会(合同)	消防機器取扱い説明 夜間想定総合訓練 (アクティブエレクト参加) 緊急連絡表 手順の研修 ユニット施設見学(蘇望苑)
11 月	ふれあいおやつ会 故郷 ドライブ 紅葉見学	紅葉見学 焼き芋会	緊急連絡訓練 昼間想定総合訓練(宇城広 域消防本部・アクティブエレクト参加)
12 月	冬至湯 クリスマス会	冬至湯 クリスマス会	厚生年金受給者ボランティアによる車椅子 清掃
1 月	新年祝賀会 初詣 新春 茶会 七草粥 正月帰省 書初め 御船地区どんど や参加	新年祝賀会 初詣 新春 茶会 七草粥 正月帰省 書初め 御船地区どんど や参加	消防機器取扱説明会
2 月	節分の集い	節分の集い おやつ作り(蒸かし芋)	みすみ保育園交流会 緊急連絡訓練
3 月	ひな祭りの集い 故郷ドライブ 新戸馳大橋&花見見学	ひな祭りの集い 故郷ドライブ 新戸馳大橋&花見見学	健康診断(福岡健康管理センター)
月例	ふれあい誕生会 ふれあい喫茶 茶話会 外気浴 散歩 カラオケ リフレッシュビューティー エミ美容室 西山美容室 太田理容店		介護用品清掃(3ヶ月に1回) 消防設備外観及び機能保守点検

3. 栄養管理事業

	施設課				ダイ サー ビス	福 祉 サ ー ビ ス (デ イ)	生 き が い 元 気 セ ン タ ー	そ の 他	配 食 サ ー ビ ス	ケ ア ハ ウ ス	語 ろ う 会	合 計
	入居者		ショートステイ									
	一般食	経管栄養	一般食	経管栄養								
4月	6,675	240	926	0	841	197	320	102	668	2,477	57	12,503
5月	6,857	291	1,081	0	862	232	332	107	771	2,504	61	13,098
6月	6,319	418	1,152	0	818	237	370	158	834	2,531	56	12,893
7月	6,425	389	1,374	0	836	232	340	172	823	2,586	46	13,223
8月	6,208	335	1,249	0	810	222	348	167	782	2,487	46	12,654
9月	6,357	323	1,011	74	791	229	337	149	788	2,264	35	12,358
10月	6,803	313	1,069	149	885	248	350	152	928	2,400	47	13,344
11月	6,508	367	934	10	836	212	273	97	863	2,201	55	12,356
12月	6,648	427	1,294	64	844	186	274	94	753	2,397	48	13,029
1月	6,567	434	1,211	62	747	165	300	92	730	2,375	44	12,727
2月	6,134	352	1,170	54	705	166	282	84	734	2,101	48	11,830
3月	6,664	311	1,173	65	799	190	305	96	827	2,337	53	12,820
合 計	78,165	4,200	13,644	478	9,774	2,516	3,831	1,470	9,501	28,660	596	152,835
前年実績	79,279	2,635	14,612	130	9,410	2,361	3,787	1,347	7,897	28,691	585	150,734
増 減	-1,114	1,565	-968	348	364	155	44	123	1,604	-31	11	2,101
前年対比	99%	159%	93%	368%	104%	107%	101%	109%	120%	100%	102%	101%

前年度と比較すると、ほとんどの部署で食数は増加している。施設課において大きく減少しているのは、特に夏場に入院された方が多く、また長期入院となられる方が多かった為と考えられる。

	施設入居者・ショートステイ食形態別給食数										
	普通食		粥食		ミキサー食		経管栄養		計		合計
	入居者	SS	入居者	SS	入居者	SS	入居者	SS	入居者	SS	
4月	1,941	797	3,277	125	1,457	4	240	0	6,915	926	7,841
5月	2,143	878	3,422	199	1,292	4	291	0	7,148	1,081	8,229
6月	1,947	946	3,205	199	1,167	7	418	0	6,737	1,152	7,889
7月	1,933	1,044	3,186	256	1,306	74	389	0	6,814	1,374	8,188
8月	2,026	949	2,654	207	1,528	93	335	0	6,543	1,249	7,792
9月	2,118	738	2,667	201	1,572	72	323	74	6,680	1,085	7,765
10月	2,278	661	2,879	299	1,646	109	313	149	7,116	1,218	8,334
11月	2,268	699	2,971	147	1,269	88	367	10	6,875	944	7,819
12月	2,476	843	3,033	423	1,139	28	427	64	7,075	1,358	8,433
1月	2,503	712	2,982	481	1,082	18	434	62	7,001	1,273	8,274
2月	2,388	630	2,576	513	1,170	27	352	54	6,486	1,224	7,710
3月	2,556	663	2,842	453	1,266	57	311	65	6,975	1,238	8,213
合計	26,577	9,560	35,694	3,503	15,894	581	4,200	478	82,365	14,122	96,487
前年実績	31,914	10,634	38,462	3,488	8,903	490	2,635	130	81,914	14,742	96,656
増減	-5,337	-1,074	-2,768	15	6,991	91	1,565	348	451	-620	-169
前年対比	83%	90%	93%	100%	179%	119%	159%	368%	101%	96%	100%

	デイサービス利用者食形態別給食数			
	普通食	粥食	ミキサー食	合計
4月	772	68	1	841
5月	799	53	10	862
6月	736	73	9	818
7月	735	94	7	836
8月	732	69	9	810
9月	702	81	8	791
10月	806	70	9	885
11月	751	77	8	836
12月	758	77	9	844
1月	696	47	4	747
2月	643	56	6	705
3月	740	53	6	799
合 計	8,870	818	86	9,774
前年実績	8,344	1,066	0	9,410
増 減	526	-248	86	364
前年対比	106%	77%	186%	104%

4. 通所介護事業

要支援・介護1～介護5

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
個別機能訓練	772	805	772	791	750	726	810	731	737	668	631	718	8,911
健康チェック	853	875	840	865	841	820	916	842	849	751	709	804	9,965
入浴（一般浴）	797	821	796	805	787	742	828	789	799	716	682	764	9,326
送迎減算	9	12	6	6	8	7	39	32	31	7	5	8	170
給食	841	862	818	836	810	791	885	836	844	747	705	799	9,774
月間利用延人員	853	875	840	865	841	820	916	844	849	751	709	804	9,967

月	総合事業	要介護					合計	福祉
		1	2	3	4	5		
4月		316	330	126	63	18	853	197
5月		317	368	140	33	17	875	232
6月		307	343	146	34	10	840	237
7月		315	341	146	59	4	865	232
8月		319	319	141	58	4	841	222
9月		307	301	145	62	5	820	229
10月		373	350	125	64	4	916	248
11月	2	386	318	98	36	4	844	212
12月		377	305	124	38	5	849	186
1月		331	271	123	22	4	751	165
2月		303	260	108	34	4	709	166
3月		325	307	135	33	4	804	190
合計	2	3,976	3,813	1,557	536	83	9,967	2,516

要介護の利用回数は前年度より500回(延回数)ほど増加した。総合事業対象者の利用はあったものの、身体状況の変化により2回の利用で要介護認定となられた。これまでの経緯では要介護認定の増加に伴い福祉サービスの利用回数は減少していたが、30年度においては福祉サービスの利用回数も150回(延回数)ほど増加した。しかし今後の地域状況を踏まえると新規利用者の獲得及び利用回数の減少が予想される。事業所内の課題としては、曜日により利用者数の波が見られるので均等な利用が出来るよう努めていきたい。

5. 訪問入浴事業

	A様	B様	C様	D様	E様	F様	G様	合計
4月	4	2						6
5月	1		3					4
6月	5		4					9
7月	4		5	9				18
8月	5		4	9	4			22
9月	4		4	8	3			19
10月	4		5	9		3(1)		21(1)
11月	4		4	9		5		22
12月	4		4	8		4	5	25
1月	4		4	8		4	4	24
2月	4		4	8		4	4	24
3月	4(1)		4	7(2)		5	3	23(3)
合計	47(1)	2	45	75(2)	7	25(1)	16	217(4)

※()数字は清拭を行った回数となる。

7月からは上天草市からの新規利用者もあり、後期においては延べ利用回数が全て20件を越えた。よって、月平均延べ利用回数が20件以下である場合に算定出来る小規模事業所加算は、このままの利用者数を推移すると、令和2年には算定の対象とはならない。例年同様重度の利用者が多い為、入院等での増減は免れない。

6. 訪問介護事業

	訪問介護		予防介護		障害福祉		福祉		合計	
	利用延べ回数	利用者数	利用延べ回数	利用者数	利用延べ回数	利用者数	利用延べ回数	利用者数	利用延べ回数	利用者数
4月	529	38	76	19	13	1	31	12	649	70
5月	504	38	116	23	13	1	24	10	657	72
6月	490	38	86	21	13	1	31	13	620	73
7月	484	38	111	24	31	1	34	13	660	76
8月	488	41	107	21	32	1	39	14	666	77
9月	434	35	92	19	31	1	42	15	599	70
10月	437	35	89	17	32	1	43	14	601	67
11月	391	39	86	17	32	1	37	12	546	69
12月	396	36	85	17	32	1	55	16	568	70
1月	396	34	71	16	32	1	43	13	542	64
2月	391	34	70	16	32	1	38	15	531	66
3月	512	40	81	17	32	1	33	12	658	70
合計	5,452	446	1,070	227	325	12	450	159	7,297	844

前年度に引き続き、全体的に実績は減少している。複数回利用される方の在宅から施設入居への移行や永眠での終了、予防の見直し等が大きく影響している。特にケアハウスの複数回ご利用者の終了は大きく影響している。総合事業を他事業所でご利用されていた方々の受け入れがあり利用者数は増加となった。

利用延べ数・前年比 -1,538回 利用者数・前年比 +26名

平成30年度の報酬改定では主に身体介護が単価増額、生活援助は単価減となった。生活援助が身体介護と複合で算定できるようになったため、サービス見直しを包括及びケアマネへ提案したことで身体と生活の複合サービスを数名の方に支援できている。また、総合事業が定額制の見なし算定から介護同様一回の訪問単位での算定となったため月の訪問回数次第では減収となった。また、更新や支援内容のチェックが厳しくなり、週1回利用が基本で対象外となる例もあった。介護の生活単価より予防の単価が高いため積極的な受け入れも必要である。随時居宅や包括との連携を図り、サービスの見直しにも努めたい。

7. 訪問看護事業

月	利用件数					訪問回数				
	介護保険		医療 保険	福祉	合計	介護保険		医療 保険	福祉	合計
	要支援	要介護				要支援	要介護			
4月	0	10	4	0	14	0	45	69	0	114
5月	0	9	5	0	14	0	46	82	0	128
6月	0	9	5	0	14	0	49	56	0	105
7月	0	10	4	0	14	0	47	25	0	72
8月	0	10	3	0	13	0	46	25	0	71
9月	0	10	3	0	13	0	49	27	0	76
10月	0	10	2	0	12	0	53	21	0	74
11月	0	8	2	0	10	0	42	20	0	62
12月	1	8	2	1	12	1	46	56	1	104
1月	1	8	3	0	12	2	44	45	0	91
2月	0	9	3	0	12	0	48	44	0	92
3月	0	9	4	0	13	0	49	43	0	92
計	2	110	40	1	153	3	564	513	1	1,081

前年比として、利用件数 ー 1 2、訪問回数 ー 6 4 4 と減少している。複数回利用者の終了や、利用者の高齢化による永眠、在宅復帰困難による終了が主な要因である。来年度は、医療機関との連携を密に図り、新規の依頼を得る事に努める。

8. 短期入所生活介護事業

	多床室				ユニット				総合計	
	要介護		介護予防		要介護		介護予防			
	実人数	延べ回数	実人数	延べ回数	実人数	延べ回数	実人数	延べ回数	実人数	延べ回数
4月	25	292	2	10					27	302
5月	30	374	2	12					32	386
6月	31	407	3	9					34	416
7月	29	440	4	21	1	30			34	491
8月	32	408	3	24	1	20			36	452
9月	29	389	2	21					31	410
10月	30	411	2	21	1	2	1	5	34	439
11月	25	335			1	5			26	340
12月	26	442			1	3			27	445
1月	28	453							28	453
2月	25	428			1	11			26	439
3月	33	448	2	6			1	5	36	459
合計	343	4,827	20	124	6	71	2	10	371	5,032

短期入所生活介護・介護予防事業について

ショートステイは平成28年12月より利用定員を12床から17床へと定員幅を増床したことにより、柔軟に利用者の希望に添える体制となっている。

延利用者数は、平成30年度5,032名(利用率81%)、平成29年度5,123名(利用率82%)と微減であった。

受け入れ状況として、要介護・要支援となり、在宅生活を送られている一人暮らしの方の在宅生活継続の為の支援、入院後の在宅復帰に向けた支援、ご家族の介護負担軽減や冠婚葬祭・病気による一時的な支援など、そのニーズに応じ出来る限り、その要望・日時に応じたサービスの受け入れを行った。

また、多様なサービスを利用しても在宅での生活が困難となり入所を望まれる方に、入所が整うまでの間、長期的なショートステイを利用頂く事で本人及びご家族が安心して暮らせるように支援を行った。その利用者数の増加は顕著で、月に8~10名程にまで達している。

「出来るだけ住み慣れた地域で最期まで暮らしたい」という本人様の意向に合わせ、介護者である家族も高齢であり、自宅近くの施設入所を望まれている事や、宇城市の南端に位置する三角地区は高齢且つ過疎の進む地域であり、他に重度の要介護者を受け入れる施

設が少ないことも影響し、長期でのショートステイ利用が増加していると考える。

利用者が出来る限り住み慣れた地域で在宅生活の継続が出来るよう、居宅介護支援事業所や、地域包括支援センター、関係市町村、その他保険・医療・福祉サービスと情報を交換・共有し、密接な連携を図った。また、居宅介護支援計画に基づき施設介護計画を作成し、看介護・機能訓練及び栄養課スタッフ間のケアの統一を行い、利用者への支援を実施した。

支援にあたっては、利用者の心身の特性を踏まえ、その方がその方らしく、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことが出来るよう、また、家庭での生活がより長く継続出来るよう、多職種間で協働しサービスの提供に努めた。

利用時は家庭での生活情報を収集し、また、退居時は園での生活や身体状況をお伝えすることで、本人及び家族との情報交換を密に行った。定期的に利用される方はもとより、緊急的な受け入れの方においても、利用者・ご家族との関係の構築を図ることで、より安心してショートステイをご利用頂けるよう配慮した。

住み慣れた地域で、住み慣れた我が家で最期まで暮らして頂く事、家族と共に出来るだけ長く生活出来る為の支援を行っていきたいと考える。

9. 居宅介護支援事業

前年度と比較し利用実績には大きな変化はなかった。平成 30 年度は医療と福祉の同時改正が行われ、特に医療との連携が評価された。事業所内においても毎月 10 数名の入院者がおり、医療との連携は前年度の 3 倍近くになった。ただ、要介護 4・5 の利用数は少なく、在宅復帰を選択されないケースが増えている。ご利用者・ご家族のニーズに対応出来るよう、サービス事業所の特徴や社会資源の把握、家族や地域（環境）の課題など広い視野を持って「在宅復帰」を支援する事が必要である。そのために自己研鑽に励むと共に事業所全体の質の向上に努めていく事が今後の課題である。

平成 30 年度 実績報告

介護度別請求数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護 1	42	41	40	41	41	42	44	42	42	42	42	42	501
要介護 2	39	41	39	40	40	36	35	34	33	33	34	34	438
要介護 3	21	21	22	23	27	24	25	25	22	24	22	24	280
要介護 4	15	14	9	9	9	10	11	10	13	13	14	12	139
要介護 5	1	2	2	3	3	2	1	1	1	1	1	2	20
月遅請求件数	3	0	0	0	0	0	1	0	1	2	1	2	10
合 計	121	119	112	116	120	114	117	112	112	115	114	116	1,388

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規介護	5	3	1	2	4	6	4	2	2	2	5	4	40
入院	6	9	10	7	10	9	10	15	12	9	12	9	118
長期休	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	13
施設入所	3	3	0	1	5	2	1	2	1	1	1	1	21
死亡	1	0	0	0	1	3	2	1	1	3	0	2	14
区分変更	3	0	0	0	0	1	1	2	1	1	1	1	11

質の向上への取組み	
ケース検討会	55
支援センター勉強会	24
カンファレンス参加	68
サービス担当者会議	234

集中減算提出書類作成	
全事業所 対象	3月 9月 年2回

11. 配食サービス事業

	30年度実績	29年度実績	増減	前年対比
4月	668	554	114	121%
5月	771	603	168	128%
6月	834	602	232	139%
7月	823	646	177	127%
8月	782	709	73	110%
9月	788	679	109	116%
10月	928	709	219	131%
11月	863	739	124	117%
12月	753	663	90	114%
1月	730	606	124	120%
2月	734	651	83	113%
3月	827	736	91	112%
合計	9,501	7,897	1,604	120%

配食サービスにおいて、件数は年々増加している。子供世代が遠方に住んでおり、親の高齢化に伴い、栄養状態や安全面を考え、見守りも兼ねた配食サービスを依頼する事が増えている事が一因と考えられる。

12. 生きがい元気センター

	件数
4月	320
5月	332
6月	370
7月	340
8月	348
9月	337
10月	350
11月	319
12月	289
1月	300
2月	282
3月	305
合計	3,892

前年度と比較し、利用者数は年々増加傾向となっている。今後も、既存の利用者へのサービスの充実を図りながら、利用者数の獲得を目指していく。

1 3. 軽費老人ホーム（ケアハウス）

1 支援体制について

恵まれた自然環境の中、人として尊厳のあるその人らしい暮らしが継続でき、安全で安心できる日常生活が確保できるよう努めた。しかし、既往症の重症化や脳内出血にて永眠された方、透析中に永眠された方もおられ、超高齢者施設であるがゆえに生じる事態が重なった。また、要介護度が重くなり特別養護老人ホームへ転居された方や、経済的理由から養護老人ホームへ転居された方もおられた。

精神的に自立した生活が継続して営まれるよう、地域包括支援センターや居宅介護支援センターとの連携に努めた。

2 人部屋の欠員が生じ、この補足が困難であり、空きベットの解消に至らなかった。

平成30年度 入居者 6名 退居者 8名

2 入居者からのご意見について

月に1回の「コーヒータイム」の中で、月の行事・施設からのお願い・利用者からのご要望等、気軽にお声を伺える一時として実施してきた。皆様に配布する行事予定表には、色塗りをして頂き楽しんで頂いた。利用者の思いをしっかりと受け止め、充実した内容となった。また、入居に際しての満足度アンケートを実施したところ、殆どの方が満足のいく生活が出来ているとの回答を頂いた。しかし、中には職員の言葉遣いに対しての指摘があり、反省すべき点としてしっかりと受け止め、今後の対応に努めていきたい。

3 季節の行事と各活動について

四季折々の風情を大切にすることを忘れることなく、楽しみや思い出づくりに取り組んだ。季節の作品作りでは、皆様に花や飾り物を完成させ、達成感を味わった。また、地域のボランティアの協力を頂き、ふれあい喫茶を継続して実施した。グルメの旅や多くの活動行事や交流の機会を通して、元気と笑顔が絶えない施設であるよう努めた。

活動状況については、別紙の通りである。

4 安全・衛生面について

年2回の衛生点検、月1回の業者による害虫駆除を実施した。居室の衛生状況の確認を行う事によって、利用者の衛生面に対する意識の高揚が図られ、施設内の環境衛生の充実が保たれた。関心が薄い方へは説明を行い、訪問介護等のサービスの介入を促した。年3回の消防訓練は、支障がない限り利用者全員の参加のもと実施した。避難経路の確認・火災に対する認識を高めた。また職員は、火災に対する認識と迅速な消火活動、より安全な避難誘導の徹底に努めた。喫煙者に

おいては、特定の場所での喫煙を促した。

5 食事について

年2回の嗜好調査を参考に、家庭的な雰囲気の中で、美味しく食べやすい、栄養のバランスが取れた調理にした。行事食・バイキング・手作りの弁当・クッキングデイ・おやつ作り等、食べる事への楽しみを多く取り入れた。

特に、ケアハウスの畑で収穫した玉ねぎ・かぼちゃ・にがうり・きゅうり・さつまいもは、クッキングデイで利用したり、施設入居者にも提供し、とても好評であった。食中毒の予防・衛生面を考え、食事前の手洗いの徹底と手指消毒の活用を継続している。

6 生活について

ケアハウスにも温泉が分湯されており、血行の改善や不眠の解消等の効能があり、とても好評である。生活の中の一部となっているレクリハは定着し、利用者自らの声かけで始めておられる。利用者へ参加を促す事で、居室閉じこもりを防ぎ、身体的・精神的機能の低下防止に努めた。脳いきいき勉強会では、簡単な計算・間違い探しなどを取り入れ、頭の体操にも積極的に参加して頂いた。月1回の書の道や茶の湯、週1回のショッピングは、定着し楽しみの1つになっている。尚、参加されない方への買い物依頼にも応じている。また、日用雑貨・食品・魚屋・ヤクルト等の移動販売により、自分で選んで購入する機会が増え、とても好評である。

7 健康面について

毎食時、状況観察に加えて週1回の血圧測定・月1回の体重測定を行い、常に入居者の健康状態の把握と異常時の早期発見予防に努めた。定期健康診断を実施し再検査・加療の必要な方には、かかりつけ医師と連携し、安心した生活ができるよう努めた。みすみ歯科クリニックによる「口腔ケア」についての勉強会によって、歯磨きの大切さをより認識して頂いた。感染症対策については、特に流行時期前には全入所者の予防接種の実施、手すり等の消毒及び外出時のマスク着用による予防の徹底を図り、感染には至らなかった。

8 その他

年4回の季刊誌の発行に合わせ、ご家族への近況報告を行い関わりを深めた。また、身体面や精神面の変化時には、必ず連絡を入れ報告を行った。今年度も「私はこう生きたい」シートの作成を継続し、自身の命に向き合う機会を設けた。

要介護認定時の訪問調査には必ず同席し、ご家族に代わりご本人の生活上の変化など報告した。また、担当者会議において、自立面に重点をおいた計画になるように、常にご本人の立場に立って参加した。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入居者総数	29	29	30	30	30	30	29	29	29	28	28	27
男性	6	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	8
女性	23	22	23	23	23	23	22	22	22	21	21	19
入居者平均年齢	85.7歳	85.7歳	85.7歳	85.8歳	85.9歳	86.2歳	86.5歳	86.6	86.7歳	86.5歳	86.6歳	86.5歳
介護保険認定	15	15	16	16	14	15	15	17	17	17	17	18
生きがい 元気センター	3	3	3	3	2	3	4	4	4	4	4	3
【活動出席状況】												
ショッピング	53 (13.2)	49 (12.2)	59 (11.8)	45 (11.2)	52 (10.4)	40(10)	43 (10.7)	41 (10.2)	42 (10.5)	46 (11.5)	44 (11)	44 (11)
季節の行事	基本健診 28	野菜作り 21	父の日の集い 26	七夕の集い 23	花笠作り 7	黎明の碑 建立記念 22	ミニミニ 運動会 26	紅葉ドライブ 14	餅つき 6	新年祝賀会 26	節分の日 の集い 20	昼食懇談会 22
	桜見学・グル メ・SP 13	母の日の集い 25	みすみ保育園 交流会 19	おやつ作り 4	地蔵祭りとSP 13	敬老の日 の集い 23	グルメの旅 13	おにぎり弁当 作り 4	クリスマス パーティー 27	初詣 12	みすみ保育園 発表会見学 8	ひなまつりの 集い
	不知火アート 見学・SP 13	私はこう生き たい 21	工作・七夕飾 り作り 28	グルメの旅と SP 19	納涼花火会 27	体育祭作品 作り 11		芋掘り 10	年忘れゲーム 大会 23	グルメの旅 14	もち作り 5	グルメの旅 14
	つつじ見学・ グルメSP 13		口腔ケア 講演会 20				つるし柿作り 8	いきなり団子 作り 5	年越しそば作 り 5	カラオケ大会 18		
	スケッチ 7	カラオケ大会 14	ふれあい喫茶 15	カラオケ大会 11		ふれあい喫茶 13	ふれあい喫茶 9	ふれあい喫茶 11		ふれあい喫茶 9	ふれあい喫茶 11	ふれあい喫茶 12
《サークル》総人数	訪問理容 4		訪問理容 9		訪問理容 9		訪問理容 9		訪問理容 5		訪問理容 5	
書の道	11	11	14	12	11	11	11	9	7	5	3	0
茶の湯	11	13	14	16	14	12	14	12	17	10	13	13
衛生タイム	0	4	5	12	2	3	4	5	0	0	4	7
コーヒータイム	15	15	17	19	18	18	19	15	17	18	14	0
クッキングデイ	11	11	7	12	8	12	5	5	5	9	11	2
脳イキイキ勉強会	11	8	12	10	9	11	12	11	10	11	15	16
レクリハ	84	124	98	121	80	54	112	110	71	111	86	124
合同活動				ひよっとこ 慰問 19	盆供養 25		みすみ保育園 交流会 15				みすみ保育園 交流会17	
訪問調査		宮田新吾様	飯田登美様	宮川ツギヨ様	池田金次様	大賀弘子様	江川富美江様		戸田房子様	小山セイ様	小川笑子様	
		大谷千枝子様		前川緑様	池田テル子様				帆足隆治様	小幡ヒロ子様		
					興津和子様					天津悦子様		

1 4. みすみ保育園

平成 30 年度

みすみ保育園事業報告



社会福祉法人 黎明福祉会

みすみ保育園

平成 30 年度 みすみ保育園行事实績

	行 事 名	そ の 他	入所 児童数
4 月	<ul style="list-style-type: none"> ・入園・進級式 ・降園時面接相談 		73 名
5 月	<ul style="list-style-type: none"> ・いも苗植え ・お見知り親睦会 ・保護者親善ミニバレー大会 ・園児健康診断 	<ul style="list-style-type: none"> ・いも畑作り（職員） 	74 名
6 月	<ul style="list-style-type: none"> ・宇城地域療育センター育児相談 ・衣替え ・歯科検診 ・七夕飾り付け ・ケアハウス交流会 	<ul style="list-style-type: none"> ・三角小連絡会（授業参観） 	74 名
7 月	<ul style="list-style-type: none"> ・プール開き ・幼児交通安全教室 ・港まつり 	<ul style="list-style-type: none"> ・第 1 回役員会 	73 名
8 月	<ul style="list-style-type: none"> ・夏まつり ・尿検査 ・児童クラブ宮田農園 	<ul style="list-style-type: none"> ・三角小連絡会（保育参観） ・青海小連絡会（保育参観） ・ヨコミネ園内研修 	74 名
9 月	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児歯科教室 ・第 47 回運動会 	<ul style="list-style-type: none"> ・三角中職場体験（2 名） ・第 2 回役員会・消防設備点検 ・運動会予行練習、準備（役員） 	77 名
1 0 月	<ul style="list-style-type: none"> ・芋ほり・監査・園外保育・衣替え ・松寿園運動会 ・保育参観 ・園児健康診断・豊洋園交流会 ・済生会みすみ病院健康フェスタ 	<ul style="list-style-type: none"> ・A E D 園内研修 	77 名
1 1 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動（年長児） ・金刀比羅宮参拝 ・みかん狩り遠足 ・サッカー巡回指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワックスがけ ・三角小、青海小就学時健診 ・不知火小、松橋小就学時健診 ・ヨコミネ園内研修 ・音楽園内研修（水田楽器） 	80 名
1 2 月	<ul style="list-style-type: none"> ・もちつき ・クリスマス会 		82 名
1 月	<ul style="list-style-type: none"> ・発表会全体練習（三角センター） ・竜野保育園来園（職員、役員研修） ・宇城地域療育センター育児相談 	<ul style="list-style-type: none"> ・第 3 回役員会 ・三角センターへの道具運搬（役員） 	82 名

	行 事 名	そ の 他	入所 児童数
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・豆まき ・発表会リハーサル ・第47回保育発表会 ・豊洋園交流会 ・4園5才児交流会 ・ロアツソキッズキャラバン 	<ul style="list-style-type: none"> ・三角小、青海小一日入学 ・松橋小、不知火小一日入学 ・三角小連絡会 ・青海小連絡会 ・青照館実習生受け入れ ・中九州短大実習生受け入れ 	83名
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・JAふるさと感謝祭（年長児） ・修了記念写真撮影 ・消防総合訓練 ・食と農の体験塾（年長児） ・お別れ遠足 ・新入園児説明会 ・修了式 ・卒園式 	<ul style="list-style-type: none"> ・第4回役員会 ・消防設備点検 	85名

月例として、避難訓練、交通安全教室、布団持ち帰りがあり、誕生会は2カ月に1度行っている。また職員会議を月1回、クラスミーティング、非常勤職員ミーティングを必要に応じて行い、毎朝の朝礼等で職員の共通理解、意識、質の向上に努め、安全で安心できる保育を心がけている。

◎保育活動の実践について

それぞれの子どもの発達段階や発育状況に留意し、保育士の愛情と知性と技術とが一人ひとりの子どもの十分に受けられるよう配慮しながら、保育計画に沿って実践する。なお実践にあたっては全ての活動領域において、子どもが自主的自発的に取り組めるような環境の設定に留意する。

養護の面においては、乳幼児の適切な対応に十分配慮し、必要に応じて保健だより等を発行。衛生面には特に注意を払い、万全を期した。

ヨコミネ式では、「子ども達の将来に役立つために」をモットーに、持てる力を最大限に出せるよう取り組む。毎日の走り込みと体操で「体の力」を身につけ、読み書き計算で「学ぶ力」を、自分で失敗しながら「やれば出来る」という気持ちで「心の力」を育て、「頑張ることが楽しい！」と思える保育を行っている。

◎職員研修について

4月2日に全職員参加しての保育計画立案と年間計画、感染症、衛生管理、事故防止、防災マニュアルの読み合わせ、職員心得の確認などを行う。また、年間を通して保育協会や社協、その他専門分野の研修、キャリアアップ研修など、各職員で分担して参加。復命書や全体会議等で共通理解を図る。

ヨコミネ式教育法に関しては、志布志市にある元祖ヨコミネ式の保育園の視察研修、各地で行われたヨコミネ研修など、たくさんの研修機会に恵まれた。また宇土市網田保育園とはお互いに視察研修を行い、ヨコミネ式教育の理解を深めた。

その他、宇城地域療育センターから療育相談員の先生方が来られ、在園する子どもに関するケース会議、カンファレンスが行われ、その後の保育に大変役立てる事が出来た。

◎保健安全等について

保健については、計画に基づき園児の健康診断を年2回(5月、10月)、歯科健診を1回(6月)、尿検査を1回(8月)実施した。また身体測定を毎月実施。9月には年中、年長児を対象に歯科衛生士による歯科教室が行われた。また、フッ素洗口も4月より開始、きれいで強い歯を目指す。職員健康診断は9月に実施。検便については、全職員毎月行う。

給食については、宇城保健所の指導に基づき、園児の健康・発育等に留意し献立を作成。必要な栄養量の確保と嗜好を生かした調理に配慮して実施した。食物アレルギーに関する調査も行い、該当園児には除去食の提供に努めた。また肥満傾向にある園児については栄養士が資料を作成し、保護者へ注意点等を伝え、食生活の改善を促した。安全については、毎月の避難訓練、交通安全教室を通して、全職員が危機管理意識を常日頃から持つよう心掛ける。7月に交通安全協会の指導員による幼児交通教室を実施。年度末には西分署より来園され、消防総合訓練が行われた。避難の状況を見ていただき、消防講話、消火訓練も行った。

◎保育環境の整備について

合奏指導の環境整備として、ミキサーを購入していただき発表会に向けて大いに活用させていただいた。これからいろいろな行事にも大いに活用し、大切に使用していきたい。また、備品や固定遊具等も不備があるとその都度適切な対応をとり安全に使用することが出来た。また、送迎車が老朽化の為、入れ替えをし、安全に送迎することが出来た。

平成 30 年度 みすみ保育園児童クラブ事業報告書

1. 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
利用児童数	399	452	461	392	452	380	378	374	327	270	281	253	4,419
保育日数	23	24	26	25	26	23	26	24	23	23	23	25	291
登録者数	28	27	26	26	30	26	26	26	25	23	22	21	306

2. 行事報告

- ・ 8/4 (土) 園の夏祭りに参加する。そうめん流しやバザー、花火等を楽しんだ。
(45名参加)
- ・ 8/22 (水) 夏休みお楽しみ会に参加する。夏休みに活動を頑張ったご褒美として、「宮田農園」にて食の体験を行う。
(24名参加)
- ・ 9/23 (日) 園の運動会に参加する。開会式のプラカード持ちや、徒競争、技巧走「Wカップ、小学生半端ないって」に参加する。
(30名参加)

※ヨコミネ式のそろばん検定には、多数の児童クラブ員が参加。コツコツと級を取得し、年度末には3年生5名、2年生4名が4級に合格した。

平成 30 年度 三角子育て支援センター事業報告

1. 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
わいわい広場 参加者数	20	26	23	18	37	28	20	23	10	8	32	34	279
講習会等 参加者数	24	22	38	17	58	41	75	46	31	21	23	29	425
地域支援活動	52	16	58	30	49	60	46	46	59	66	76	45	603
育児相談	1件	2件	2件	2件	2件	1件	2件	2件	1件	1件	2件	1件	19件
開設日数	20日	20日	21日	22日	23日	20日	23日	22日	19日	20日	20日	21日	251日
利用者合計	96	64	119	65	144	129	141	115	100	95	131	108	1,297

2. 活動報告 ☆わいわい広場は、週5日開所 (月～金 9時～14時)

	講習会・イベント活動	乳幼児健診支援
4月	・ボディートーク・親子ヨガ ・こいのぼり製作	・乳児健診 ・1才半健診 ・2才児健診
5月	・誕生会&絵本サークル ・宮田農園 ・子育て講演会	・乳児健診
6月	・七夕製作 ・手作りおもちゃ ・親子クッキング・親子ヨガ	・乳児健診 ・2才児健診 ・1歳半健診 ・3才児健診
7月	・親子ビクス ・プール ・誕生会 ・手作りうちわ	・乳児健診 ・3才児健診
8月	・ブドウ狩り ・親子ヨガ ・プール ・はがき作り ・親子クッキング	・乳児健診 ・2歳児健診 ・3才児健診
9月	・誕生会 ・子育てランド ・ハンドメイド	・乳児健診 ・2才児健診・3才児健診
10月	・ちびっこ運動会・親子ヨガ ・食育 ・ハロウィン	・乳児健診 ・1才半健診 ・3才児健診
11月	・誕生会&絵本サークル ・親子ビクス ・ボディートーク・クリスマス製作	・乳児健診 ・1才半健診
12月	・クリスマス会 ・ツリー飾りつけ ・親子クッキング	・乳児健診 ・2才児健診 ・3才児健診
1月	・お面作り ・ハンドメイド ・誕生会	・乳児健診 ・1才半健診 ・2才児健診
2月	・豆まき ・親子クッキング ・お雛様製作 ・ボディートーク	・乳児健診 ・2歳児健診 ・1才半健診 ・3才児健診
3月	・親子ビクス ・絵本サークル ・誕生会 ・親子ヨガ	・乳児健診 ・1才半健診 ・3才児健診

平成 30 年度 みすみ保育園一時保育事業報告

1. 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用 児童数	2	4	2	3	2	2	1	1	0	1	2	1	21
利用日数	26	34	20	21	15	16	2	1	0	9	10	14	168

2. 利用理由

- ・里帰り出産
- ・就職活動
- ・都合

15. 養護老人ホーム松寿園

平成31年3月31日現在

入所者状況報告

1. 年齢・性別

	60～69	70～79	80～89	90～100	100～	平均年齢
男	0	6	6	1	0	80.8
女	1	4	20	12	0	86.7
合計	1	10	26	13	0	85.2

2. 入所者措置市町村

	宇城市	宇土市	美里町	八代市	阿蘇市	合計
措置人数	44	1	4	0	1	50

3. 介護保険認定状況

	非該当	支援1	支援2				合計
人数	24	1	0				25
	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計	
人数	8	9	8	0	0	25	

4. 入所期間

	1年未満	1年以上～3年未満	3年以上～5年未満	5年以上～10年未満	10年以上	合計
男	0	7	1	4	1	13
女	7	5	11	10	4	37

5. 介護サービス利用状況

	28年度利用者数（1週間の延利用数）	29年度利用者数（1週間の延利用数）	30年度利用者数（1週間の延利用数）
ケアマネ	22	23	21
通所介護	19（46回）	21（56回）	16（43回）
訪問介護	13（23回）	11（17回）	12（23回）
生きがい元気センター	1（2回）	2（4回）	4（7回）

6. 入退所状況

	H30. 4月	5月	6月	7月	8月	9月
入所数	2	0	0	1	2	0
退所数	2	0	1	0	2	0

	10月	11月	12月	H31. 1月	2月	3月
入所数	0	1	1	0	1	0
退所数	0	1	1	1	0	0

行事实績報告

	施設内行事	行事食	その他
4月	官軍墓地慰霊祭、不在者投票、法話、定例常会、入所者花見、クラブ活動、ショッピング	誕生会、花見弁当	訪問散髪、消防設備点検、入所判定会、新任職員研修
5月	法話、ショッピング、定例常会、避難訓練、菖蒲湯、クラブ活動、日帰り旅行	誕生会、端午の節句	消防設備点検、入所判定会
6月	法話、ショッピング、定例常会、クラブ活動、夏花苗植え、おやつ作り	誕生会	2施設球技大会（スカットボール大会）訪問散髪、防火管理者講習
7月	法話、ショッピング、定例常会、七夕会、一斉清掃、クラブ活動、秋祭り打ち合わせ・準備、避難訓練	誕生会、七夕昼食	県指導監査、輪投大会
8月	法話（盆供養）、定例常会、ショッピング、納骨堂清掃、クラブ活動	誕生会、お盆料理	2施設スカットボール大会、訪問散髪、入所判定会、入所者健診
9月	法話、定例常会、ショッピング、敬老の集い、クラブ活動、運動会打ち合わせ、外庭清掃、秋祭り	敬老の日、誕生会、十五夜昼食	職員健康診断、処遇計画中間見直し、輪投大会
10月	運動会、法話、ショッピング、定例常会、クラブ活動、一斉清掃、おやつ作り	誕生会	訪問散髪、入所判定会、不在者投票、消防設備点検、職員交流研修
11月	法話、定例常会、ショッピング、インフルエンザ予防接種、クラブ活動、紅葉ドライブ、婦人会慰問、避難訓練、秋花苗植え、入所者胸部レントゲン撮影	誕生会	消防設備点検、2施設職員交流研修（芝光苑、松寿園）
12月	法話、定例常会、ショッピング、クリスマス会、年末大掃除、クラブ活動、門松作り、活花	クリスマス食、冬至食、年越し料理	訪問散髪、入所判定会
1月	新年祝賀会、法話、初詣、クラブ活動、どんどや、買い出し	誕生会、元旦食、七草粥	
2月	節分の集い（豆まき）、法話、定例常会、クラブ活動、買い出し	節分料理	入所者健康診断、訪問散髪、入所判定会、2施設事業計画会議
3月	法話、ひな祭り、定例常会、クラブ活動、三者協議会、初詣、園内清掃、買い出し	誕生会、ひな祭り食	処遇計画検討会、夜間職員健診、貯湯槽清掃

支援体制報告

今年度は、入所者の健康面ではインフルエンザをはじめとする感染症の発症者もなく、災害においても台風の発生はあったが、施設や入所者に大きな被害はなかった。また施設設備では、入所者用トイレの改修等衛生面や日常生活において、より安全に生活出来るように努めてきた。

昨年度と比較しても高齢化に伴う介護度の上昇は大きく、今年度8名の方の退所のうち3名の方が高介護化に伴う特別養護老人ホームへの入居とされた。現在入所中の方においても半数以上の方が介護認定を受けている状況であり、介護度上昇による特養等への入居を検討しなければならない方も出ている状況である。そのような中でも、入所者それぞれが安心して入所生活を送れるよう食事、洗濯、入浴等日常生活において必要な支援を行ってきた。

行事・活動においても日帰り旅行やドライブといった園外での活動や、秋祭りや運動会といった地域との交流行事、2施設球技大会等の他施設との交流を通じ、入所者が園内だけではなく様々な場所や人と関わりをもっていけるよう、機会づくりに努めた。

現在入所者50名の満床であり、年度を通じ安定した入所率であった。31年度に向けて、施設設備の改修や入所待機者の確保等継続して課題は残っているため、入所者がこれまでと変わらず安心して穏やかに過ごせるように努めていきたい。

栄養管理実績報告

	提供食数				非提供食数					
	朝	昼	夕	合計	デイ 利用人数	入院	外出			合計
							朝	昼	夕	
4月	1,393	1,179	1,425	3,997	227	210	31	20	1	489
5月	1,460	1,231	1,487	4,178	207	165	35	57	8	472
6月	1,397	1,158	1,421	3,976	230	207	30	39	6	512
7月	1,470	1,241	1,503	4,214	225	186	31	35	0	477
8月	1,427	1,272	1,449	4,148	156	300	33	33	10	532
9月	1,463	1,228	1,463	4,154	203	105	2	34	2	346
10月	1,474	1,211	1,473	4,158	237	228	0	26	1	492
11月	1,423	1,151	1,425	3,999	224	201	2	51	1	479
12月	1,474	1,240	1,469	4,183	210	192	5	29	11	447
1月	1,409	1,247	1,455	4,111	189	207	20	36	17	469
2月	1,340	1,141	1,343	3,824	190	129	2	12	0	333
3月	1,549	1,297	1,546	4,392	227	0	1	26	4	258
合計	17,279	14,596	17,459	49,334	2,525	2,130	192	398	61	5,306
							651			
前年実績	17,548	14,592	17,537	49,677	2,601	528	123	480	136	3,868
増減	-269	4	-78	-343	-76	1,602	69	-82	-75	1438
前年対比	98%	100%	100%	99%	97%	403%	156%	83%	45%	137%

食事レベルの低下に伴い、食形態の見直し及び制限食や付加食などを始め、看護師・相談員と連携を図りながら、栄養管理及び指導を行っている。月に1回の給食会議においては、献立の見直しや改善に取り組んでいる。

また誕生会等の行事食や、手作りお菓子、弁当形式での昼食の提供など工夫をしてきた。バイキングや選択食においてはとても好評であったので、今後も入所者の意見を交えながら、皆様に喜んで頂けるような食の提供に努めたい。